

# 睡眠にかかる指標項目の変更について(案)

下記の指標項目の数値が得られなくなるため、令和5年度調査時より、指標項目を変更したい。

項目			計画策定時	データソース	目標	目標 データソース	参考値等
⑥就寝時間の遅い子どもの割合	小学生	小学校第4学年	29.4% (令和元年度)	函館市学習意識調査	24%	健康はこだて21(第2次)の 目標値23.9%を端数処理し使用	目標値 23.9% (健康はこだて21(第2次))
	中学生	中学校第1学年	35.6% (令和元年度)		34%		健康はこだて21(第2次)の 目標値34.3%を端数処理し使用
【案】 ⑥必要と考えられている睡眠時間 をとることができている子どもの 割合	小学生	小学校第5学年	41.1% (令和3年度)	全国体力・運動能力、運動 習慣等調査	【案】 現状値 以上 (41%)	全国平均はすでに超えているた め、現状値(端数処理した値) を維持することを目標として設 定	●R3年度より学習意識調査で「就寝時間の遅い子どもの割 合」の項目が削除となり、数値が得られず、指標として評価 できなくなる。 ●必要と考えられている睡眠時間は文部科学省「早寝早起き 朝ごはんて輝く君の未来」国立睡眠財団の調査研究等参照。 ●小学5年生：1日の睡眠時間の平均「10時間以上」,「9 時間以上~10時間未満」と回答しているの男女を合算し、平 均を算出。R3年度全国：37.3%,全道：44.1%(全国体力・ 運動能力、運動習慣等調査) ●中学2年生：1日の睡眠時間の平均「10時間以上」,「9 時間以上~10時間未満」,「8時間以上~9時間未満」と回 答している男女を合算し、平均を算出。R3年度全国： 25.4%,全道：30.7%(全国体力・運動能力、運動習慣等調 査)
	中学生	中学校第2学年	29.4% (令和3年度)		【案】 現状値 以上 (29%)		